

3月保育のねらい

奉仕(お手伝い)

- ・立派な仏の子になる。
- ・他人に迷惑をかけないようにする。
- ・喜んでお手伝いし、世の中のためになるようにする。



ふじ・さくら・たんぽぽ組

- ・入学・進級に期待を持ち、いろいろな活動に意欲的に取り組む。

ひまわり・れんげ組

- ・進級する事を知り期待や喜びを持ちながら、友達や保育士と一緒に元気に遊ぶ。

<行事予定>

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4 布団・ズック 持ち帰り	5
6	7 お別れ会	8 身体測定 (ふじ・さくら ・たんぽぽ)	9 誕生会	10 身体測定 (ひまわり)	11 身体測定 (れんげ) 布団・ズック持ち帰り	12
13	14 避難訓練 集金袋持ち帰り (ふじ組)	15 愛情弁当	16	17 保育用品持ち帰り (ふじ組のみ)	18 布団・ズック 持ち帰り	19 修了式
20	21 春分の日	22 集金袋・アル バム持ち帰り	23 絵本デー (たんぽぽ ・ひまわり)	24	25 布団・ズック 持ち帰り	26
27	28 集金引き落とし	29 保育用品持ち帰り	30 保育終了 布団・ズック 持ち帰り	31 保育準備 のため 休園		

今のお部屋での生活もあと4週間になりました。ふじ組さんは入学、さくら組・たんぽぽ組・ひまわり組・れんげ組さんも進級を前にこの1年間の成長を感じられる姿を見せてれています。来年度も楽しみですね。

子ども達は沢山の遊びや行事を体験し、心も身体も大きく成長しました。修了式では、立派になった姿を見せてくれる事だと思います。ご卒園おめでとうございます！



給食献立表 3月分

1日 (火)	ヒレカツ 卵の花 ゆで豚と野菜のサラダ パイナップル
2日 (水)	鯖の塩焼き マカロニグラタン ブロッコリーサラダ
3日 (木)	ちらし寿司 のっぺ汁 白菜のおかか和え いちご
4日 (金)	茶碗蒸し 海鮮シューマイ ポテトサラダ
7日 (月)	春巻き 小煮しめ もやしのごま和え
8日 (火)	さわらの西京焼き インディアンポテト スパゲティーサラダ みかん缶
9日 (水)	肉野菜ラーメン 玉子焼き キャベツのマリネ ゼリー
10日 (木)	クリームコロッケ 肉ごぼう 春雨の酢の物
11日 (金)	カレー汁 福神漬け 豆腐ナゲット 棒々鶏サラダ
14日 (月)	鶏の唐揚げ 肉もやし炒め わかめの酢の物
15日 (火)	愛情弁当
16日 (水)	エビフライ ミートスパゲティー ほうれん草のナムル
17日 (木)	にゅう麺 ハムステーキ ごぼうサラダ
18日 (金)	ししゃもフライ 焼きそば 大根サラダ バナナ
22日 (火)	揚げたこ焼き しらたき炒め 中華風酢の物
23日 (水)	鶏団子 白菜のスープ煮 スパゲティーサラダ
24日 (木)	蓮根の挟み揚げ 割り干し大根煮 じゃこサラダ 黄桃缶
25日 (金)	クリームシチュー 肉ギョーザ 根菜コロコロサラダ
28日 (月)	ささみカツ 五目豆煮 春雨サラダ
29日 (火)	チーズのせハンバーグ焼き れんこん金平 青菜のごまマヨ和え
30日 (水)	白身魚の磯辺揚げ マーボー大根 ツナ玉子サラダ

- * 3日はひな祭りのちらし寿司を作りますので、主食はいりません。
- * 9日は誕生会です。肉野菜ラーメンを作りますので、主食は要りません。
- * 行事食の日を含め、お箸とコップは毎日お持ち下さい。
- * 材料納入等、都合により献立を変更することがあります。

今月は、修了児に希望メニューを聞いて献立作成しました。 (**太字下線のメニュー**)

3月3日はひな祭りです。ちらし寿司は、見た目がとても華やかで、縁起の良い山海の幸をたくさん使っていることからひな祭りに食べるようになりました。海老は“腰が曲がるまで長生き”、れんこんは“穴から将来の見通しがきくように”、豆は“まめに暮らせるように”、錦糸卵は“財宝が貯まるように”など様々な意味が込められています。料理に込められた意味を知れば、よりいっそう行事に親しみを持って楽しむことができるかもしれませんね。

《おしらせ》

*当保育園の第47回修了式を19日(土)に行います。式の準備がありますので、修了児は9時10分までに、さくら組の登園は、9時00分までにお願いします。降園は10時40分をお願いします。お迎えは給食室横のフェンスからクラスのテラスにお回り下さい。

*今年度の保育終了は、30日(水)とさせていただきます。(通常保育、延長保育有り)
31日(木)は、保育準備の為、休園とさせていただきます。

*ふじ組希望保育のお知らせ

修了式後22日(火)~30日(水)、**希望者のみ**希望保育を行いたいと思いますので、**ご家族の方がお仕事でどうしても保育が出来ない方は**、連絡帳で7日(月)までにお申し込み下さい。

*入園・進級式は、4月1日(金)です。在園児は進級式後通常保育となります。布団・着替え・水筒・愛情弁当を持たせて下さい。新園児の保育開始は、4月4日(月)とさせていただきます。
入園式の日程については、後日おたよりでお知らせ致します。

<ふじ組より>

*今回の写真は卒園アルバムに貼りましたので、写真の枚数のお知らせと集金額のお知らせのみになります。ご了承下さい。

《お願い》

*29日(火)に保育用品を持ち帰りますので、お家の方で保管しておいて下さい。

*今年もふじ組の3月集金を引き落としとさせていただきます。引き落としが出来なかった場合、4月に再度、引き落としをいたします。

来年度継続して使用する保育用品

さくら	連絡ノート・はさみ・のり・クレヨン・粘土教材一式・おたよりホルダー
たんぽぽ	連絡ノート・はさみ・のり・クレヨン・粘土教材一式・おたよりホルダー
ひまわり	連絡ノート・はさみ・粘土教材一式・おたよりホルダー
れんげ	連絡ノート・おたよりホルダー

*制服、遊び着、ハンカチなどの購入は、5月31日頃までは内田五初店(河和田町)にて、その後は田中長助呉服店(やまちよ)にてお願いします。



お部屋の中では…

ふじ組



なわとび会に向けて前跳びや後ろ跳び・技巧跳びに励む姿が見られました。部屋に貼ってあるなわとび表のシールの数をお友達と競い合ったり、あやとびや交差跳び等の技巧跳びに挑戦したり等それぞれ目標に向けて頑張っていました。また、小学校に向けての意識も高まってきた様で、話を聞く時に集中して聞こうとしたり、保育士の話にしっかり返事をする姿も見られ、頼もしさを感じられる場面が増えてきました。卒園まで残り1ヶ月。最後まで楽しい思い出を作れるように過ごしていきたいです。

さくら組



なわとび会に向けて頑張ったり、コマ回し・雪遊びと身体を十分に動かして遊びました。なわとびでは跳べるようになった喜びを自信につなげ、それぞれに目標に向かって汗を流していました。会では悔しい思いをし、涙を流す子もいましたが、今までの頑張りを認めてあげる事で、また頑張る姿が見られています。

雪遊びでは、中山公園や雪山斜面滑り、広いたんぼの上を雪乗りを体験する事も出来ました。そしてふじ組にげんきずの当番を教してもらい、来年度に期待を膨らませて頑張っています。残り少ないさくら組。自分の身の回りの整理整頓にも気付かせてカッコいい年長児になれるようにしたいと思っています。

たんぼぼ組



4月に比べてお兄ちゃん・お姉ちゃんになってきたたんぼぼ組さん。今、お部屋では、食事中にお箸の持ち方や、口を閉じて食べる事・しゃべらず静かに食べる事・お皿を持つ事等マナーを伝えています。コロナも増えていく中でも少しでもひまわり組さんのお手本になるよう、さくら組さんに近づけるよう、意識出来ていけたらと思います

ひまわり組



戸外遊びでは、雪遊びを楽しみ、節分では豆まきをお部屋で行い、鬼が来ても泣く事なくカー杯に紅白玉を投げる事を楽しめました。ひなまつり会に向けても恥ずかしがりながらも見てもらう事を楽しみに、台詞や歌を練習し、子ども達一人ひとりの成長が感じられました。お部屋では“ぶくぶくうがい”も取り入れ、おやつ後・給食後と、たんぼぼ組に向けての準備をひとつひとつ頑張ってお練習しています。進級する事を楽しみに1日1日過ごしていきたいと思っています。

れんげ組 (1歳児)



2月は豆まきからスタートし、豆の代わりに新聞で作った玉やフェルトボール等を使って、投げる動きを楽しんだり、雪遊びでは雪の感触を味わいながら、外に出て遊ぶ事も同時に進めていく中で、1歳児なりにお友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえたと思います。最後の1ヶ月。一つ大きくなる事に期待を持ちながら、元気に楽しく過ごしていきたいです。

れんげ組 (0歳児)



毎日朝のおやつと午睡明けのおやつの時にコップで牛乳を飲んでいますが、夏頃はイヤイヤしたりこぼしてしまいましたが、自分でコップを持って牛乳を飲むようになってきています。少なくなると上を向いて最後までしっかり飲む姿を見て、成長しているなぁと嬉しく思います。『ノパみたいに大きくなるよ〜』と励ましています。3月もどんな事が出来るようになるかなと楽しみにしています。

子供の喜びを一緒に

今年度から、以上児クラスでは遊びの幅を広げていけるように、空き箱やトイレットペーパーの芯など廃材やセロテープ・ガムテープなどを自由に使い製作が出来るコーナーを設定していきました。始めのうちは気に入った空き箱やラップの芯を手にするだけで満足し、セロテープやガムテープをこれでもかと使い貼り合わせて「できた！」と見立て遊びを楽しんでいる子がほとんどでした。しかし遊びを続けていくうちに、こんな物が作りたいと思う物が出てきて「ここに穴をあけて！」「これを、こうやってくっつけて！」と思い描く作品を言葉で伝え援助を求めてくるようになってきました。「どこに？」「大きさは？」と確認を取りながら保育士が手を動かしていくと、子供たちはどんどん自分の思い描くものが出来ていく様子を見て、いかにも自分で作った物のように満足していました。しかしこれもまた回を重ねていくうちに、どうやって箱の真ん中に穴をあけるのかと興味津々に保育士の手元を見始め、自分でやってみようとハサミを動かす始めるのです。とても危なっかしい手元に目を離せないですが、道具の使い方や動かし方を知り、自分でも出来た喜びと作り上げた達成感を味わい「できた！」と大喜びし、満足感に浸っています。保育士も一緒に出来た事を喜び自分で作り上げられた事を認めていくと、周りで見っていた子供達は刺激を受け、『やってみたい』『どうやって作ったの』と好奇心が広がっていきます。

自分で考え作る楽しさや喜びを感じられるようになったことはとても嬉しいものです。製作だけでなく、運動遊びでも同じような姿が見られています。心も体もいろんな刺激を受けてどんどん成長しています。仲間の力は凄いですね。

どんな物でも大人から見たら、また何を持って帰ってきたの？と苦笑いする人もいると思いますが、子供たちは自分で作ったんだという満足感を作品として持ち帰りますので、今の子供の思いが詰まった作品を温かい目で見て、思いを聞いてあげて欲しいと思います。聞いて認めてもらう事で次への活力につながっていきますから…



さくら組 担任 井上和恵